

緑風

帯広市立緑園中学校 学校だより No. 6

平成28年 6月24日発行 発行者 校長 花井 豊
今年度重点 『生きる力をはぐくむ』

《学校教育目標》

- 学ぶ人
- 思いやる人
- 鍛える人

帯広市中体連 緑園旋風を巻き起こせ

3年生にとっての”最後の夏”が始まります。今週末の6月24・25・26日、「帯広市中体連大会(特別支援陸上競技大会)」からスタートし、「全十勝大会」「北海道大会」「全国大会」と続きます。それに先立ち、「壮行会」を20日に開催しました。各部活動・少年団らが大会に向けての決意を語り、生徒会からはエールが送られました。緑園生徒の活躍を願います。



車での送迎には東側駐車場の利用を

雨の日が続いています。傘をさしての登下校も多く、生徒には『車両に気をつけること』『歩道を歩行すること』『広がって歩かない』と指導しております。

登下校時間に車での送迎で、歩道に乗り上げて待たれる車両を見かけます。本校生徒もそうですが、森の里小学校児童も歩道から車道に出て下校することになります。送迎の際は体育館入口東側駐車場にスペースがありますので、そちらをご利用いただき、地域児童生徒の安全確保にご理解とご協力をお願いいたします。

～教育相談を終えて～

LINE 一晩で 100 件超え



体育祭を終え、各学級では「教育相談」を実施しました。担任との個人面談で、日頃の学習への取り組みや生活上で困っていることや相談ごとについて膝を交えて話します。受けた報告の中で SNS の定番となった『LINE』についての話題がありました。

就寝時間近くになると携帯電話を自室に持ち込まないというルールがあるご家庭で、**テスト前の数日、携帯電話を見なかったところ、「グループ LINE 数百件(1000件に近い)未読」**。一晩で **100 件を超えることもよくある**。というものでした。

生徒指導上なくなならないのが「LINE はずし」。「既読スルーしたから、されたから」という理由でよく起こっているトラブルです。この話題からも「自宅での貴重な学習時間を”返信”や”応答”に費やしている」ことが想像できます。

《本校の 5 月 20 日のアンケートより》



メディアと学習について		TV・DVD 視聴時間	ゲーム時間	メールインターネット	平日学習時間	土日学習時間	はや紙 4 難説 20 し明 50 い文 3 字 を 3 枚 書 け く 感 こ 原 想 稿 と 文 用	すり他授 る、の業 こ文人で と章に自 はに説分 はに説の 難書明の しいし考 いたえ り	
		人数	人数	人数	人数	人数			
1 年	4時間～	15	13	5	6	1	思う	63%	62%
	3～4時間	14	9	13	5	0			
	2～3時間	27	14	9	18	16			
	1～2時間	22	15	14	31	27	思わない	37%	38%
	0.5～1時間	12	16	13	29	27			
	～0.5時間	9	22	24	11	26			
	0 時間	1	11	22	0	3			
100人	平均時間(分)	132	95	75	95	67			
2 年	4時間～	6	8	4	2	2	思う	65%	72%
	3～4時間	12	6	6	4	3			
	2～3時間	25	21	8	18	16			
	1～2時間	33	23	14	34	36	思わない	35%	28%
	0.5～1時間	17	19	24	28	26			
	～0.5時間	5	15	22	12	12			
	0 時間	2	7	21	2	5			
95人	平均時間	121	102	66	90	85			

左図は継続的に行っているアンケートの一部抜粋です。1日に1年生で75分。2年生で66分。この時間を“返信”などに費やしており、文章を書くこと、言葉で説明することにも苦手意識を持っています。

ご家庭でも使用上のルールを確認いただき、利点と弊害について、ご指導をお願いいたします。

小学生で LINE は早い？問題に巻き込まれないために親ができること

(インターネットからの記事抜粋)

□コミュニケーション能力の低下□

直接、顔を合わせることなく、小さな画面の中で言葉をやりとりするだけでは、伝えることができないことがたくさんあります。都合の悪いことや言いにくいことを LINE で伝え、面と向かって話さずに済ませてばかりいるようでは、**相手の表情を汲み取る力**や、**自分の気持ちを伝える力**に欠けてしまう可能性があります。

あります。また、チャットのような**短文ばかりだと文章を考える力もなくなつて**いき、受け取り方によっては相手に伝わらない、反対の意味に伝わる場合も少なくありません。また、小学生の場合、**言葉遣いがストレートになりがち**ですから、思ったままを言葉にしてしまうことでトラブルになることも少なくありません。子どもには、LINEでの発言内容にも十分注意するよう伝える必要があります。